

2 学期避難訓練（地震・津波）実施計画

平成30年8月23日

保健体育部 防災担当

1 ねらい

- 地震・津波発生に対して、迅速かつ安全に避難する方法を知り、行動できる。
- 訓練を通して、冷静に行動できる態度、能力を養う。
- 地震・津波について知り、その恐ろしさや備えの大切さを理解することができる。

2 実施期日

- 平成30年9月3日（月）朝の時間

3 実施想定

- 9月3日午前8時11分頃、日向灘沖で震度6程度の強い地震が発生。その後、津波警報が発令されたため、その場で身を守る姿勢（第1次避難）、その後北校舎屋上（第2次避難）への避難を行う。

4 事前指導（9月3日【月】の朝、流れを説明する。）

(1) 避難方法

【児童】

- ① 緊急事態発生（地震）を知る。
- ② 机の下にもぐって、揺れがおさまるのを待つ。
- ③ 出入り口を開ける。
- ④ 緊急放送を聞いて、各教室から北校舎屋上へ避難する。

（歩いて避難する）（帽子をかぶる）

【教師】※空いている先生は、教室に児童が残っていないか確認する。

- ① 避難するときの危険箇所を知らせる。
 - ・ 教室の出入り口、教室の溝や段差のあるところ。
- ② 出入り口を開ける。
- ③ 学級担任が不在の学級は、隣接学級の担任が引率を行う。
- ④ 学級に自力での避難が難しい児童がいる場合は、学年会等で隣接学級担任に確実に知らせておく。同時に、情報の基点として職員室の職員にも伝えておく。
- ⑤ 児童が教室等に残っていないか確実に確認してから避難する。

(2) 北校舎屋上へ行くまでの避難経路

- 1年生、5組・6組・7組、3年生、4年1組、6年生は、5組前の出口から出て、北校舎入り口へ向かう。階段を上って、くろしお教室へ入る。その後、屋上へ行く。
- 2年生、4年2組、5年生は、給食室前を通り、北校舎入り口へ向かう。階段を上って、くろしお教室へ入る。その後、屋上へ行く。

【北校舎屋上での並び方】

※どの学年が早くなるか、分からないので、屋上に到着した学年、クラスから、図のように並ぶ。奥から詰めて並ぶ。



(3)心構え

- 自分の命は自分で守ろうという意識を持たせ、真剣に訓練に取り組ませる。
- 指示されたことを守らせる。

5 当日の訓練の流れ

時刻 【担当】	過程	留意事項
8:00	1 健康観察	○ 健康観察後、体育館への避難訓練の内容を知らせる。
8:11 【放送～教頭先生】	2 地震発生 ▼（緊急放送）	○ 児童は帽子をかぶり机の下にもぐる。 ○ 机の脚をしっかり握る。
	「訓練です。訓練です。地震が発生しました。身を守る姿勢をとってください。」（2回繰り返す）	
		○ 出入り口を開ける。
8:12 【放送～教頭先生】	3 地震収束	○ 放送を静かに聞き、避難場所を把握する。
	「訓練です。訓練です。地震は収まりましたが、津波が発生しました。北校舎屋上へ避難してください。」	
	4 避難開始	○ 教師の指示により避難を開始する。 ・ 2列で避難する。 【状況によっては4列】 ・ 「お・か・し・も」のきまりを守らせる。 ・ <u>歩いて、素早く</u> 避難させる。 ○ 帽子をかぶったまま、上履きをはいたまま避難する。 ○ 残っている児童はいないかの確認をする。 3階～6の3担任（6年教室）

		<p>4の2担任（4の2、5年教室） 2階～3の2担任（3年教室、4の1） 通級教室担任（2年教室）</p> <p>○ 引率をしない先生は、以下の場所で誘導をする。 北校舎1階入り口～栄養教諭 屋上階段付近～教務主任</p>
8:30 【進行～防災担当教諭】	<p>5 避難完了 ・人数確認、報告</p> <p>6 防災について話 ・校長先生の話</p>	<p>○ 学担は人数の確認をし、報告する。 ・担任→校長</p>
9:35	7 教室へ移動 防災学習	<p>○ 上履きの裏の汚れを落とす。 ※くろしお教室に足ふきマットの準備（保体部）</p>

6 準備

- ハンドマイク（北校舎屋上で使用）
- ストップウォッチ（教務主任・防災担当）

7 備考

- 養護教諭は、保健室にいる児童を避難させる。
- 事後指導は、学年の実態に合わせて実施する。
 - ・担任の知っている情報や経験、気をつけてほしいことなど話す。
 - ・放送が静かに聞けたか。
 - ・窓を閉め、安全に避難できたか。
 - ・「お・か・し・も」を守って避難できたか。

その他

<地震の時の心得>

- ① 慌てて外に飛び出さず、揺れがおさまるまで机の下などで待つ。
- ② 出口を開ける。（窓は特に開ける必要はない。揺れているときに窓を開けると危険！）
- ③ 1次避難：帽子 落下物から身を守る。

<担任の心得>

- ① 避難経路を把握しておく。
- ② 慌てず冷静沈着に行動し、児童に不安を与えない。
- ③ 常に児童の出欠状況を把握し、児童の掌握と統制の仕方を考える。
- ④ 避難するときには、途中で引き返らせたりしない。
- ⑤ 日頃から上履きを必ずはいておくようにする。